

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		理念の中に「地域との結びつきを大切にし、信頼関係を保ちながら、地域の一員として生活を支援します」といれて具体的に取り組んでいる。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		毎朝の申し送り、全体会議、リーダー会議等に話している。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		運営推進会議、家族会、家族面談等に話している。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		子供110番ステッカーを貼っている。 利用者と散歩に行った時に挨拶している。 又利用者の友人が訪問しやすく、くつろいで頂ける様湯茶や椅子の用意をしている。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		老人会の発表会や学校の職場体験、市の菊花展等に参加交流を計っている。

【千葉県】グループホーム フローラもばら

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>老人会の発表会を随時行って頂いたり、障害のあるボランティアに来て頂いて生きがいに繋がる支援等をしている</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>管理者変更時まず、サービス評価ガイド集を読み目指す介護について、検討している。又職員全員に対しサービスの成果に関する項目を文章で具体的に記入し介護に生かせるように取り組んでいる</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>市の職員、民生委員、老人会、家族、利用者、職員を構成員としてその都度具体的意見を聞きながら利用者の生活の安定と、地域にお住まいの高齢者の方々の役に立てるようなグループホームを目指している。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>随時個別の利用者家族の区分変更拒否や、グループホームに住所移動希望の家族の対応等、詳細に市や町の担当者に相談し法令順守を大切にしながら、ケアの向上を目指している。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>GH連絡会の後見人制度の研修に参加。独居老人には後見人制度を利用した。行政や裁判所、銀行等に相談しながら進めた。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体拘束についての研修に参加。研修報告を全体会議でしている。具体的内容について検討している。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の前に書類を渡し読んで頂いておく。当日は契約の大切さをお伝えし、詳細に読み合わせ理解を頂いている。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>担当者会議を開催し家族、利用者(混乱のない方)参加で意見をきいている。家族と外出した時に本音を話されている方もいる為、帰って来た時家族に利用者が何か不安に思っている事や困った事を話されていなかったかお聞きしている。</p>		<p>病気の進行状況によるが、可能な範囲で利用者意見を取り入れる事の大切さを職員と共通理解し実行に移したい。現在も行われているが10時のお茶の時職員といっしょにお茶を飲みながら「今日はどんな事をしてすごされますか？」と会話しながらきめる等。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月末居室担当者が今月の生活の様子と看護師が健康状態を記入し手紙を送付。預かっている現金(小遣い)等については、金銭出納長に明記し月末にコピーと領収書を送付。管理者の移動報告等は随時行っている。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>各ユニット玄関に苦情箱を用意したり家族会や運営推進会議に意見を聞いている。又苦情委員会を設け頂いた意見をケアの向上の面から具体的に検討し改善している。(紙パンツの使用量を少なくしてほしいという要望等)</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に一度のリーダー会議で検討し全体会議で再度検討。出来るだけ意見や提案を聞ける体制作りを目指している。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者、家族の要望に合わせて勤務変更、延長している。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ユニット事の異動は職員の半数を半年事に行い全職員が全利用者との馴染みの関係を築ける様になっている。異動についての影響は余り観られていない</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修については全職員が参加できるようにしている。参加後研修報告書に記入、全体会議で報告。内部研修については研修委員を中心に年間計画作成。月1回勉強している。緊急時対応等は朝の申し送り時看護師を中心に行っている。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	2ヶ月に1回GH連絡会に参加(微力だが副会長)。情報交換や勉強会をおこなったり、相互の夏祭りに参加。又他のGHを職員が見学し 良い所等を具体的にとりいれている。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の個別面談を実施、職員の悩みストレス等を聞き取り、改善する為にどうしたら良いか皆で考えたり少しでも良い方向へもっていけるよう工夫、環境作りに取り組んでいる。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員個々の成績評価を行い、面談を行いながら、経営者からのメッセージを伝え、今後も各自が向上心を持って働けるよう内部、外部等にも積極的に参加、又、各自の得意分野を取り入れ入居者の生活にもいかしてもらっています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	特に可能な限り自宅に訪問し今までの生活の様子を伺いながら利用者の急激な生活の変化にならない様に努めている。その後体験入居をして頂きお話を聴いている。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	まず、電話や来所時よくお話を伺うようにしている。訪問面接時は管理者、ケアマネ、看護師が伺っている。訪問した内容を記入し職員に共有出来るようにしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	即入居希望で満床により受け入れ不可能な方は他のGHを紹介したり、在宅可能な方にはDS利用や空き状況等をお知らせしている。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	出来るだけ本人が見学に来て頂く様にしたり、体験入居を行い馴染んで頂けるか様子を観たり、話を伺いながら時間を掛け、入居を決めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	料理の味付け、野菜作りのコツ等の話やお年寄りの知恵を聴き感心させられる事がある。又何気ないやさしい一言に職員が救われる事がある。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人にとりご家族との面会や通院は大切な交流の機会と考え通院や面会をお願いしながら、継続して関係が維持出来る様にしている。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族面談や面会時に昔の話を伺ったり、良い関係が維持出来るよう 本人のご家族への思い等を伝えている。(私が嬉しい時は家族と会う時等) 又ご家族に本人の長所をお伝えしている。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人の面会や訪問、手紙等の支援をしている。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係を観ながら慎重に入居時の居室を検討。食事の席を近くにす、等常に気を配っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	特養やシニアハウスに移られた利用者の面会に、利用者職員で面会に行ったりしている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1.一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を活用し本人の希望を聞き取っている。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に聞き取り、ご家族にも用紙に記入して頂いたり情報の招集に努め職員が共有しケアに努めている。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	健康管理は、バイタルチェックにて毎日記録し、変化時は毎朝の申し送りや会議で伝えている。日課計画表に記入。個別ケアの指標にしている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居時家族や本人から可能な範囲で聞き取り、早期に作成。了解を頂きながらその後は、随時担当者会議(含む利用者、家族)や全体会議等で検討作成している。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	随時見直していけるよう努力している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子をケース記録に記入。支援経過表、モニタリングにて見直しを行うよう取り組む努力をしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同じ敷地内にデイサービスがある為誕生会やレク等毎月合同で行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	週に一度ボランティアが来所。利用者のかご作りに参加して頂きながら利用者との交流を行う。消防訓練には指導をうけている。月1回の行事等の時には近隣の老人会や園芸等に来て頂いている。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の必要に併せて他のケアマネと連絡を取り合い落ち着いて生活して頂けるようにしている。(入居前のケアマネや退居希望時の情報提供等)		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	後見人等の相談を行った。(利用者の独居家族の財産が無く生活出来ないという訴えに対して、包括支援センターを紹介した。)		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の希望により訪問診療を行っていたが、医師の都合により往診に変更。医師と連絡を取り、必要に応じて受診し適切に対応している。往診も含め家族の希望により受診する所を決めている。		

[千葉県] グループホーム フローラもばら

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけの医師と認知症の状態を相談しながら薬の管理を行っている。又日常生活のアドバイスを受ける為、家族と受診時同行した。(千葉大、長生病院)		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師がいる為日常の健康管理を行っている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院中面会したり、病院の医師、看護師から情報を得て退院後の生活が円滑にいくよう支援している。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	可能な限りGHでの生活が継続出来るよう支援しターミナルケアを行った方もいて、ご家族から大変喜んで頂いた。終末期については入居時から話し合いを行い紙面でも記入して頂いている。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	GHでの終末期を希望される方には常時医療を必要としない条件の上で看取りを行なう事もある。家族、医師、職員で担当者会議を開催しプランの確認をし家族の協力も得ながら看取りを行なった。急変時の入院先確保や看取り時の医師の確保が難しい。		
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	別の居所に移る際、フェースシート、プラン等にて本人の情報を家族他施設職員、GH職員を交えて情報交換を行なっている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>トイレ誘導等はさりげなく声掛けをするよう工夫している。記録等については鍵つきの書庫に保管している。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>朝訪室して挨拶、元気ですか？やお茶や食事等その都度話し相手をしている。週末の食事は利用者の希望を聞きながら献立を決めている。おやつ時間はお茶がよいですか、コーヒーが良いですか？と聞いている。</p>	<p>取り組みの強化を図りより良いケアを目指したい。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>今日はどんな事をしましょうかね？とおききしながら外出やレク等に取り組んでいる。</p>	
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>移動美容室にてカットをしたり希望によりパーマや髪染めを行っている。また家族と一緒に美容室にいかれる利用者のいる。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の配膳や調理等利用者1人1人役割を持ち手伝って頂いている。日曜日の献立は利用者の希望により好みの物を提供している。外食レクやおやつ時なども行っている。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>お酒は疾病(アルコール中毒)の方がいる為お正月のみ提供。おやつは給食委員が利用者の好みそうな季節の物を利用者といっしょに手作りしている。(毎月1回)又ご家族と外出時アイスやジュース、飴等買い好きな時食べる方もいる。</p>	

【千葉県】グループホーム フローラもばら

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>夜間オムツ使用の利用者も日中はリハビリパンツを使用しトイレの誘導でできるだけオムツをしない様になっている。全介助の方も排泄無時は日中トイレ誘導をしている。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>日曜日を除き、毎日利用者の希望に応じ入浴している。入浴拒否の強い利用者には機嫌の良い時や、タイミングを見ながら入って頂く。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>ホールからの明かりが気になる方には光が差し込まないようにしたり、その利用者により電気のつけ方をかえたり、鍵も利用者に合わせて閉めて頂く等工夫。生活習慣の延長でテレビを見ながら眠る方もいる。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>クラフトのかご作り、編み物、庭の草花の世話、花のみずやり、読書、調理、配膳、掃除、等それぞれの役割を持って過して頂いている。</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自動販売機でジュースを買いに行く事を楽しみにしている利用者には自分で買いに行く支援をしている。</p>		出来る所から、強化したい。100円ショップやコンビニ等。
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>日光浴や散歩、買い物等外出レク等支援している。</p>		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>外出クラブを中心に通常の外出とは別に、予定をたて月に一度は外出する機会を作り買い物や外食等に一緒に行く機会を作っている。</p>		

【千葉県】グループホーム フローラもばら

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	随時希望により利用者が家族や友人に電話を掛けたり、手紙のやりとりをしている。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ホールや居室等にて、家族や友人等と過せる様、来客時椅子やテーブルと湯茶の用意をしつつういで頂いている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	基礎、専門研修を受講し全体会議等にて研修内容を報告。職員に理解の場を設けている。		何気なく話してしまうスピーチロックを点検し原因の除去に努める。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	車の交通量が多い通りに面している為利用者の安全を考慮している。(市にも相談)その為常時の開放よりも、ベンチを置く等工夫し外気浴や散歩を多く取り入れている。		天気の良い日や開放可能な時間帯の検討を行い具体的に取り組む。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	居室には鍵が掛けられる様になっておりプライバシーに配慮している。又常時確認が必要な方元気そうにみえても、発作出現の方等随時必要な方も考慮し個別に対応している。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ハサミ、ナイフ等は必要に応じて貸し出す様にしている。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ケアプランに個別のリスクを立案し職員皆で注意出来る様申し送りを行っている。		

[千葉県] グループホーム フローラもばら

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	看護師による誤嚥時の対応(ハイムリック法・背部叩打法)を全職員で。学んでいる		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	月1回17日前後を避難訓練の日として、地震、火災等を想定し訓練を行っている。6月には消防署立会いでDSと合同の訓練も行った。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	歩行の機会を作り筋力低下予防に取り組んでいる。全職員に転倒の心配がある事を伝え常時の見守りを行いながら、ケアプランに記入し現状での転倒の心配と対策も含め家族に伝え合意を得ている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝バイタルチェックを行い、体調の変化があった場合は、家族に連絡、早期対応と受診を行っている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師がいる為日常の健康管理を行っている。薬の内容についてはいつでも職員が見られるようファイルに閉じてある。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	1日1回以上体操を行ったり出来るだけ散歩や隣のユニットを散歩して身体を動かす機会を作っている。ヨーグルト、ヤクルト、さつまいもなどを提供している。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	必ずイソジン液にて毎食後うがいや口腔ケア(夜間は入れ歯洗浄剤)の支援をしている。		

【千葉県】グループホーム フローラもばら

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の食事量の記入を行っている。ミキサー食、刻み食等個別に対応、体重の変化や受診結果(糖尿、心疾患等)により食事量の検討等を行っている。水分面ではお茶を好まれない方にはジュース・コーヒー等にて支援している。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗い、うがいは常時注意し面接の方にもお願いしている。インフルエンザ予防接種は全利用者、全職員が行っている。肝炎の対策は血液感染を周知し、MRSAは退院時病院との連絡を取り合い対策を検討している。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具・ふきん等毎日塩素消毒を行っている。食材については日付の確認を注意している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	草花の栽培やベンチを置く等くつろげる空間作りを心掛けた。玄関には石やかめを置きミニ箱庭のように工夫した。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	庭で栽培した草花を食事のテーブルに飾る、季節ごと壁画を利用者といっしょに作り楽しむ等の支援をしながら、自然に季節感を持って頂ける様に配慮している。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳スペースや長いす、コーナーにイスを置く等好みの場所で過ごして頂いている。冬には畳スペースに炬燵や電気カーペットを置いている。		

【千葉県】グループホーム フローラもばら

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家で使われていた机、いす、たんす等を持ち込まれている。仏具、位牌を備え毎日手を合わせている方もいる。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝掃除の時は居室やホールを開け空気の入換えを行っている。特にキッチン上にある明り取り用天窓を開ける事も行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	壁には手すりがついていたり長いすを置く等掴まる場所の確保や玄関やトイレ近くに椅子を置いている。台所が中央にあり利用者の安全の確保に配慮しやすい環境になっている。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレ、居室等必要に合わせて目印を貼るようにしている。特に入居されたばかりの方の不安を受け止め、今までの環境を考慮して対応している。(ドアの開閉について矢印で分かるようにしている)		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭に野菜や花を植え利用者と草取りや収穫を楽しんだり水やり等を行っている(チュウリップの球根の成長を楽しみにしている等)		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

【千葉県】グループホーム フローラもばら

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・野菜や草花を利用者と育て食材に使ったり、居室に飾ったりしている。
- ・日常生活の中に一人一人役割を持ち、生き生きとした生活をしている。
- ・本人のペースを崩さないように支援している。
- ・利用者のQOLの向上が出来る様にしている。